

片柳児童センターだより11月号



さいたま市立片柳児童センター

さいたま市見沼区東新井710-78

048(687)4525

<https://www.saicity-j.or.jp/>

令和5年11月1日発行

児童センター
ホームページ



【幼児事業】11:00～11:30



ハイハイサロン(0歳児)



ヨチヨチひろば(1歳児)



わんぱくひろば(2歳以上)



7ちひろば(未就学児)

【申込みをお願いいたします。048-687-4525】

11月の事業カレンダー

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
29 動きやすい服装で いらしてください		31	1	2 ヨチヨチひろば (リズム遊び)	3(開館しています)	4
5	6	7 ハイハイサロン (ママのストレッチ)	8	9 ヨチヨチひろば (お花紙遊び)	10 わんぱくひろば (おはなし箱)	11
12 (おとうさんとあそぼう) プラレールであそぼう	13	14 ハイハイサロン (離乳食講話)	15	16 ヨチヨチひろば (スタンプ遊び)	17 わんぱくひろば (風船遊び)	18
19	20	21 ハイハイサロン (ボールプール)	22	23 休館日 (勤労感謝の日)	24 わんぱくひろば(楽器遊び) 発達相談の日	25 ふれあい花壇
26 プチひろば	27 救急法	28	29 プチひろば (お誕生会)	30	1	2

わんぱくひろば内

おはなし箱

日時 10日(金)

11時～11時30分

読み聞かせボランティアさんと
わらべうたなどで遊びます。



幼児さんから高校生まで参加OK!

プラレールであそぼう

(おとうさんとあそぼう)

日時 12日(日)

10時～12時

遊戯室にプラレールを
走らせて遊びましょう。



0歳の

ハイハイサロン内

離乳食講話

日時 14日(火)

11時～11時30分

0歳児さんの離乳食について
栄養士さんからのお話です。



2歳児以上対象

発達相談の日

日時 24日(金) 10時～11時30分

発達支援施設の専門職員による発達に関する

個別相談になります。定員 3名 11月4日より予約開始



ふれあい花壇



日時 25日(土) 10時30分～11時30分 ※雨天時は12/2(土)

児童センターの花壇に球根や苗を一緒に植えませんか?
どなたでも参加できます。【持ち物】軍手・シャベル(ある人)

未就学児さんなら何歳でもOK!

救急法

日時 27日(月) 11時～11時45分

さいたま市消防局の救急課職員が来館します。
緊急時の対応などのお話です。定員 25名



未就学児さんなら何歳でもOK!

11月のお誕生会

日時 29日(水) 11時～11時30分

みんなで11月生まれのお友だちのお祝いします!
お誕生日のお子様へ、誕生日カードをプレゼント
しています。予約時に職員へお伝えください。



ゆうぎしつゆうせん
遊戯室優先タイム

たくさんからだを動かせます♪



しょうがくせいじょう たっきゅう
小学生以上は卓球もできます♪



なや ぎちん そうだん
悩みや疑問を相談
ができるポストも
あります!!



ほこ
きいてほしいこと箱
せっち
設置しました。

がくしゅう
学習スペースや

そとあそび いうぐ
外遊び遊具もあります



にゅうようじゆうせん
午前9:00 ~ 午後1:30 乳幼児優先タイム

ゆうぎしつ だい ようじょう
◎遊戯室はすべり台、コンビカー、幼児用おもちゃなど
にゅうようじ おむ せってい
乳幼児さん向けの設定になっています。

じかん しょうがくせいじょう がくしゅうしつ りょう
◎この時間、小学生以上は学習室を利用してください。

すいようび ゆうぎしつ りょう ごぜん
◎水曜日は遊戯室の利用が午前10:45からになります。

しょうちゅうこうせいゆうせん
午後1:30 ~ 午後6:00 小中高生優先タイム

ゆうぎしつ しょうがくせい じょう おむ せってい たっきゅう
◎遊戯室は小学生以上向けの設定です。卓球や
か た ゆうぐ あそ
バドミントンなどの貸し出し遊具で遊べます。

じかん にゅうようじ がくしゅうしつ す
◎この時間、乳幼児さんは学習室でお過ごしください。

しょうがくせい りょう ごご
◎小学生のみの利用は 午後5:30 までです。

ごご ごご ちゅうこうせいゆうせん
◎午後5:30~午後6:00は中高生優先タイムになります。

【毎年11月は児童虐待防止推進月間です】

社会全体に児童虐待問題に対する関心、理解が得られるよう啓発活動を実施いたします。

『オレンジリボン運動』をご存じですか？

オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。

オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。子ども虐待の防止は、児童相談所や市町村などの公共機関だけで行えるものではありません。

オレンジリボン憲章

- ① 私たちは、子どものいのちと心を守ります。
- ② 私たちは、家族の子育てを支援します。
- ③ 私たちは、里親と施設の子育てを支援します。
- ④ 私たちは、地域の連帯を拡げます。



たくさんのオレンジリボンで子育てに優しい社会を目指したいですね。